

薫風 楽しみ歩く

若狭・三方五湖ツーデーマーチ

初日 2811人参加

第25回記念大会若狭・三方五湖ツーデーマーチ（若狭町、日本ウオーキング協会、朝日新聞社など主催）が21日、始まった。日程は2日間。晴天の中迎えた初日は、自然豊かな山々やラムサール条約登録湿地の三方五湖の風景を楽しむ「五湖一周・ふれあいの道」コースを2811人が歩いた。5、10、20、40キロの4コースがあり、40キロコースでは普段は歩くことのできない有料道路「レインボーライン」がコースに組み込まれた。22日は若狭鯖街道を通り、古い町並みが残る「熊川宿」などを楽しむコースが予定されている。（山田健悟）



「レインボーライン」を歩いていくと、梅丈岳頂上付近にある「山頂公園」に着く。「恋人の聖地」と書かれた石碑があり、多くの参加者が眼下の景色を楽しんでいた＝梅丈岳



晴れ渡った空の下、ツーデーマーチの40キロコースで、主会場の「若狭さとうみパーク」を出発する参加者たち＝いずれも若狭町



「レインボーライン」もコースに組み込まれた。車は奥に見える日向料金所で通行止めとなった



④心地よい風が吹く中、ラムサール条約登録湿地の三方五湖の一つ「三方湖」沿いの道を歩く参加者たち
⑤参加者たちは、縄文時代の文化をテーマにした「縄文ロマンパーク」も通った

